

一般質問発言通告書

次のとおり発言したいから通告します。

令和4年4月 27日

令和 4年 4月 27 日			
午後 1 時 54 分 受付			
受付番号	/	発言順位	/

朝霞和光資源循環組合議会議長 様

朝霞和光資源循環組合議員 10番 赤松 祐造

順位	発言事項	要 旨	答弁者
1	施設基本構想 余熱利用	<p>朝霞和光資源循環組合で取り組む広域処理施設は環境負荷の少ない施設整備の基本方針が設定されています。そこで、ゴミ焼却発電は施設内利用と売電だけでなく</p> <p>(1) 災害時のバックアップ機能として意義が高い施設整備基本計画の策定に入れる取組みを伺います。</p> <p>(2) 清掃車を排ガスが出ない電気自動車に順次転換排ガスが出るガソリン、軽油車から自家ゴミ焼却発電を直に利用すれば電気代の削減、環境負荷削減効果も大きい。これには充電駐車場設備等が必要となります取組みを伺います。</p> <p>(3) 余熱利用と交付金制度について 廃棄物処理施設において二酸化炭素排出抑制を図る目的の施設には交付金、補助金が利用可能となっています。循環型社会形成推進交付金、廃棄物処理施設整備交付金等の活用について当資源循環組合の取組みを伺います。</p>	
2	長期的跡地利用計画	<p>和光市、朝霞市と交互に30年サイクルで建設した場合の跡地利用を見据えた長期的シナリオの作成について</p> <p>(1) 新施設稼働後の現和光市清掃センター、現朝霞市クリーンセンターの旧施設解体後の跡地利用の計画について 次期新施設が出来るまで、両市に30年間近く現施設の土地が空く場所が出来ます。利用計画の考えを伺います。</p> <p>(2) その次の令和40年以降の跡地利用について 次の朝霞市に新施設が移ると和光市の施設を解体、その跡地等の30年先の利用計画を考え、長期的シナリオを作成して置く必要があります。取組みを伺います。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

一般質問発言通告書

次のとおり発言したいから通告します。

2022年 4月 27日

令和 4年 4月 27日			
午後 2 時 7分 受付			
受付番号	2	発言順位	2

朝霞和光資源循環組合議会議長 様

朝霞和光資源循環組合議員 5 番 齊藤 弘道

順位	発言事項	要 旨	答弁者
1	ごみ広域処理施設 の検討	具体的な検討状況と課題、今後について問う	

※ 次の発言事項に移るときは、1行空けてください。